

2026 年度 名古屋芸術大学 入学試験問題

総合型選抜（特別枠） 3 年次編入学試験 1 期

入試問題

試験科目：「小論文」

日 程：2025 年 11 月 15 日（土）

試験時間：50 分 ／ 解答字数：800 字程度

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

対象コース：リベラルアーツコース

[課題]

下に引用する文章は著者が「ファンタジア」という概念について考察した論考の一部である。なお、著者によればファンタジアとはこれまでになかった新しいことを考えださせる人間の能力のことである。以下の文章を読み、問 1 と問 2 に答えなさい。

(引用文省略；別紙参照)

問 1

著者は、もっとも初歩的なファンタジアをどのようなことであると指摘しているか。引用文中の記述に沿って 200 字程度で説明しなさい。

問 2

あなた自身の身の回りのものごとから「相反する事柄が同一の均衡にある例」を指摘し、600 字程度で具体的に説明しなさい。引用文中の著者の例示を参考にしながら考察すること。1 つを指摘して詳細に説明してもよく、2 つ以上を指摘してそれぞれについて簡潔に説明してもよい。

[出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

高校三年生対象ではない、社会人&シニア・海外帰国生徒・外国人留学生および3年次編入生の選抜という入試形態をふまえ、下記の項目に関する思考力や表現力をみることで、本領域が求める学生像に合致する資質を持つかどうかを判定する。

<芸術的および文化的な視点をもって自分の身の回りや社会を観察し、思考する能力>

- ・新しいことを考えだすための能力やその価値について理解し、簡潔に説明できるか（問1）。
- ・他者の考えに沿って自己の身の回りを見つめ直し、考察したことを自身の解釈や主張を織り交ぜながら論理的に表明できるか（問2）。

<基本的な日本語運用力と思考の客観性>

- ・問題文の意味を読み取れているか。
- ・引用文の内容を正確に把握し（問1）、自分の考えを明確に表現できるか（問2）。
- ・自分自身の思考を客観的かつ論理的に記述できているか。